

山形県環境保全協議会 設立20周年記念誌

～考えは地球規模で、行動は足元から～

平成26年3月
山形県環境保全協議会

山形県環境保全協議会設立20周年記念誌目次

1	御挨拶	1
2	祝辞	2
3	歴代会長挨拶	3
4	山形県環境保全協議会とは	5
	・設立総会新聞記事	6
	・沿革	7
	・設立発起人、歴代会長名簿	8
	・平成25年度役員、企画活動員名簿、会員企業数の推移	9
5	20年のあゆみ	
	・総会・記念講演	10
	・表彰事業	15
	・視察研修	19
	・社会貢献事業	24
6	20周年記念シンポジウム	27

ごあいさつ

山形県環境保全協議会

会 長 小 嶋 信 一



本協議会は、経済と環境の両立の理念に立ち、県内の企業が協力しながら、企業活動のあらゆる分野に環境保全の考えを取り込み、企業・事業者側から快適な地域環境を創造することを目的に平成 5 年 3 月 15 日に設立され、今年度 20 周年の節目を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物であると厚くお礼を申し上げます。

今、企業には、地球温暖化対策や循環型社会の形成、生物多様性など、地球規模での環境問題に対し積極的な取組みが求められており、本協議会の存在意義はますます大きくなってきております。

本協議会の事業活動としては、研修事業をはじめ、表彰事業、情報収集発信事業のほか、平成 23 年度からは東日本大震災で被災した地域の復興支援活動を、また、今年度は 20 周年記念事業として「再生可能エネルギーの普及や事業化、連携に向けたシンポジウム」の開催や、会員企業を紹介するデータベースの作成に取り組んでおり、時代に合った様々な変化に即時対応し、活動を展開していきます。

当協議会設立趣旨書の一文に、「自然環境の豊かな山形県において企業活動を営む我々事業者は、地域社会の構成員として、恵まれた環境資源を枯渇することなく、将来の世代に引き継ぎ、快適な地域環境の創造に積極的に参加していくことが我々事業者に課せられた責務であろう」とございます。設立の趣旨に立ち、地域社会の一員として、良好な環境保全と創造に寄与すべく、当協議会としても邁進してまいりますので、今後とも一層の御指導、ご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げ、ごあいさつといたします。

祝 辞

山形県知事

吉 村 美栄子



山形県環境保全協議会が設立 20 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、平成 5 年の設立以来、自主的な環境保全への取組みの推進と快適な地域環境の創造に寄与するという目的のもと、日頃から、研修事業、表彰事業、社会貢献活動等に積極的に取り組まれるとともに、企業間の交流促進や地域社会とのパートナーシップの構築等に御尽力されておりますことに改めて深く敬意を表します。また、本県の環境・エネルギー施策の推進につきまして、格別の御協力を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

今日の地球温暖化等による環境問題の顕著化や東日本大震災を契機としたエネルギー政策の抜本的な見直しの動きなどは、私達の日常生活と密接に関係しており、国民的な関心や意識がかつてないほどの高まりを見せております。このような状況の中、私達には、これまで以上に資源やエネルギーの効率的な利活用等を推進し、地域の資源や特性を活かした低炭素社会を構築していくことが求められています。

そのため、県では、「持続的発展が可能な豊かで美しい山形県」の実現を目指し、「山形県エネルギー戦略」及び「山形県地球温暖化対策実行計画」等に基づき、再生可能エネルギーの導入促進と省エネルギー対策を一体的に推進し、地域の活性化に向けた取組みを進めております。

特に、地球温暖化対策につきましては、家庭、事業所及び自動車からの温室効果ガス排出量削減の取組みの促進を図るため、年間を通して「笑顔で省エネ県民運動」を展開し、県民の自主的な省エネの取組みの定着を促進しております。

貴協議会には、山形県地球温暖化防止県民運動推進協議会の一員として、県民運動の推進に格別の御尽力、御協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げますとともに、今後とも格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山形県環境保全協議会の今後益々の御発展と、会員の皆様方の一層の御活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

歴代会長あいさつ

初代会長

水戸部 知己 様

(元山形日本電気株式会社代表取締役社長)



設立 20 周年おめでとうございます。設立から 20 年が経過し感慨無量のものがござい
ます。設立当時の「環境」という言葉に対する世間の関心度と、現在の「環境」に対する世
間の関心度が違うように思います。かつては本業が先でそのあと「環境」がついてくるも
ので、現在の環境の問題を考えなければ事業ができないという常識は考えられなかったと
思います。

最近中国で PM2.5 が話題になっておりますが、数十年前に東京湾に湾岸道路ができた
ときは、現在の中国くらい大気が汚染されており、環境問題がクローズアップされたとき
でした。世間の環境に関する関心度が低いなかでも、みんなで旗を掲げ、問題解決に努力
した結果、現在のような改善が達成されたのだと思います。未だ残された様々な問題があ
りますので今後も頑張っていきたいと思います。

第二代会長

千歳 栄 様

(株式会社千歳建設取締役会長)



この度は山形県環境保全協議会が発足 20 周年を迎えられましたことに、心よりお慶び
申し上げます。

私が会長に就任したのは平成 9 年 6 月、水戸部初代会長様より突然の依頼がありお
引き受けし、平成 14 年 6 月までの 5 年間勤めさせていただきました。当時は国をはじめ
県も環境行政に力を入れはじめた頃で、正直暗中模索の中、県の担当事務局の方と色々検
討し、企画活動委員会の設置や環境保全推進賞の表彰制度を設け、事業の柱とさせていた
だきました。殊に表彰制度の中で毎年審査に当られた山形大学工学部の高橋教授をはじ

め、また毎回の企画活動委員長には東北電力山形支店様のご尽力をいただくことが出来ましたことに、心より厚く御礼申し上げる次第であります。その後は日東ベストの鈴木会長様へそして現、小嶋会長様へとバトンタッチがなされ、それぞれにご尽力いただく中で、活動内容も充実し、そしてこの度目出度く20周年を迎えられましたことに、事務局をはじめ関係各位の皆様にご心からお慶びと敬意を申し上げます。

今日、環境問題が企業サイドにおいても増々重要性を増してくる中、本、山形県環境保全協議会の果たす役割も非常に大きなものがあるだけに地味な活動ではありますがどうか更なるご努力によりまして、より一層ご発展されますよう心より祈念申し上げ、御祝のご挨拶とさせていただきます。

第三代会長

鈴木 俊幸 様

(日東ベスト株式会社取締役相談役)



私が会長に就任した頃は、地球温暖化対策として山形県事業「夏のエコスタイルキャンペーン」が始まった時期で、県の職員や協議会の会員の皆様と山形市七日町でキックオフイベントを実施しました。

今回の20周年記念シンポジウムの中では、再生可能エネルギーの普及に向けて、行政や、会員企業と連携しながら、さらなる山形県の環境保全に向けて取り組まれるということで、環境への取り組み方も時代とともに変わってくるもので、本協議会の存在意義はますます大きくなっております。

よりよい山形県の環境を作るために、会員企業並びに本協議会それぞれが心身を鍛え努力をされることを祈念したいと思います。

★山形県保全協議会とは

経済と環境の両立の理念に立ち、県内の企業が協力しながら、企業活動のあらゆる分野に環境保全の考えを取り込み、企業・事業者側から快適な地域環境を創造することを目的に平成5年3月に設立した団体です。

山形県環境保全協議会設立趣意書

自動車排ガスによる大気汚染や廃棄物の増大などの身近な問題から、フロンガスによるオゾン層の破壊や二酸化炭素による地球温暖化などの地球規模の問題まで、今日直面している環境問題は、21世紀に向けて人類が総力をあげて取り組むべき問題となっております。

このような環境問題は、私たちの日常生活や経済活動が深くかかわっており、これに的確に対処して行くためには、県民各層が人間活動と環境のかかわりについて理解を深め、継続的かつ着実な環境保全活動を推進して行くことが求められております。

特に、自然環境の豊かな山形県において企業活動を営む我々事業者は、地域社会の構成員として、恵まれた環境資源を枯渇することなく、将来の世代に引き継いで行くため、経済と環境の両立の理念に立ち、企業活動における環境倫理の確立や環境教育の推進など、環境保全を企業活動や経営活動のあらゆる分野に広く組み込んで行くとともに、併せて、快適な地域環境の創造に積極的に参加していくことが我々事業者に課せられた責務であろうと思われ

ます。

そのためには、事業者が相互に連絡協調しながら、環境保全に関する知識と快適な地域環境の創造に寄与していくことが必要不可欠となっております。

このような観点に立脚し、環境保全に向けた県内事業者の組織化を推進することによって、事業者の自主的な環境管理体制の充実を図り、もって、地域社会の一員として、良好な環境保全と創造に寄与すべく、ここに「山形県環境保全協議会を」設立するものであります。

平成5年3月15日

★現在の主な事業

- 講演会、セミナー・研修会
- 視察研修
- 交流会
- 表彰事業
- 情報提供・広報事業
- 共催・後援事業
- 社会貢献・率先活動事業
- 環境保全活動等支援事業
- 会員企業の情報発信

産経(3/16)

企業自ら運動展開

環境保全へ協議会設立

地球規模での環境保全が叫ばれている中で、企業自らが環境保全に取り組もうという県環境保全協議会（会長・水戸部知巳山形日本電気社長）が十五日、山形市のオーヌマホテルで設立総会を挙げた。参加は県内の各界企業百十社、全国に先駆けたスタートで環境保全の運動を拡大していく。

県内110社が参加

リサイクル技術など開発へ



山形県環境保全協議会設立総会

県環境保全協議会の設立総会＝山形・オーヌマホテル

本県は、自然環境の豊かさを誇りとしているが、自動車の排ガス、大気汚染や廃棄物の増大、フロンガスのオゾン層破壊などで、地球環境の汚染が進んでいる。このような汚染、環境破壊は、他方面からのものではなく、日常生活、経済社会活動に大きくかかわっている。恵まれた環境資源を枯渇させず、次の世代に引き継ぐには、企業が率先して環境保全に力を結集しようというもの。

水戸部会長は「地球環境の破壊は、われわれの日常生活の中でも深くかかわっている。環境保全は事業者の身近な問題としてまず廃棄物を出さない。廃棄物をリサイクルできる生産技術を開発する。一人、一社の努力ではできない面もあるが、みんなの技術ならば対応できる。二十一世紀に美しい山形県を継承させたい」とあいさつ。高橋知事も「本県が全国に先駆けて企業の自覚で環境保全に取り組んだことは意義あること、行政も協力していきたい」とあいさつした。

協議会はとりあえず、企業の環境憲章、脱フロン対策、エコマーク事業や先進地の見学、研修などを行う。

沿 革

平成 3 年	山形県環境保全懇談会が県に対し「企業が集まって環境保全の在り方を考える場が必要」とする長期構想を答申
平成 4 年 1 2 月	山形県環境保全懇談会で「経済と環境を両立し、企業活動に環境保全を組み込む」企業を主体とした協議会の設立を決定
平成 5 年 3 月 1 日	設立準備会を開催（設立発起人 1 7 名）
平成 5 年 3 月 1 5 日	設立総会を開催 初代会長に水戸部知巳氏就任（会員数 1 1 0 社） 事務所を山形県環境保健部公害課内（山形県庁内：山形市松波）に置く
平成 5 年 6 月 2 1 日	平成 5 年度通常総会を開催、総会記念講演会、懇親パーティーを開催
平成 5 年 9 月	会報 VOL. 1 （第 1 号）発行
平成 6 年 4 月 1 日	事務所を山形県環境保健部環境保全課内（山形県庁内：山形市松波）に置く （県組織名変更）
平成 6 年 1 1 月 4 日 ～ 1 3 日	特別事業「欧州エコビジネス・環境保全行政調査団」を結成し、スイス、ドイツ、イギリスを訪問。リサイクル活動、酸性雨被害状況、環境保護活動推進企業などの調査を実施
平成 8 年 4 月 1 日	事務所を山形県文化環境部環境保護課内（山形県庁内：山形市松波）に置く （県組織名変更）
平成 8 年 6 月 1 0 日	千歳栄氏第 2 代会長に就任
平成 9 年 1 1 月 1 1 日	企画活動委員会を設置
平成 1 0 年 4 月 1 日	事務所を山形県文化環境部環境企画課内（山形県庁内：山形市松波）に移す
平成 1 1 年 2 月 2 6 日	ホームページを開設
平成 1 1 年 4 月	表彰制度「環境保全推進賞」を創設
平成 1 1 年 6 月 4 日	社会貢献活動事業を開始
平成 1 2 年 6 月 1 3 日	環境やまがた推進ネットワーク運営委員となる
平成 1 3 年 9 月～	平成 1 2 年度総会開催、第 1 回目の「環境保全推進賞表彰式」を実施
平成 1 4 年 6 月 1 3 日	県と協力し、「アイドリングストップ統一行動」を実施
平成 1 4 年 1 2 月 2 0 日	鈴木俊幸氏第 3 代会長に就任
平成 1 5 年 4 月	設立 1 0 周年記念式典・記念講演を開催、記念祝賀会・異業種交流会を開催
平成 1 5 年 6 月 1 2 日	環境保全率先活動事業を開始
平成 1 7 年 4 月	平成 1 5 年度通常総会、表彰、環境月間記念講演の終了後、最初となる「企業等交流会」を開催
平成 1 7 年 7 月 1 日	環境活動等支援事業（助成制度）を開始
平成 1 8 年 4 月	事務所を特定非営利活動法人環境ネットやまがた（山形県環境科学研究センター内：村山市楯岡笛田）へ移管
平成 1 9 年 7 月	環境経営システム導入支援事業（助成制度）を開始
平成 2 0 年 6 月 5 日	事務所を村山市楯岡笛田から山形市城西町（山形県 NPO 支援センター内）へ移す
平成 2 2 年 8 月 1 6 日	小嶋信一氏第 4 代会長に就任
	事務所を山形市城西町から山形市上桜田（山形エコハウス内）へ移す

設立発起人(50音順)

(平成5年3月1日)

アイジー工業(株)	代表取締役社長	石 川 堯
旭コマグ(株) 米沢工場	取締役工場長	今 牧 捷 治
オビサン(株)	代表取締役社長	小 嶋 信 一
酒田共同火力発電(株)	取締役専務	眞 田 昌 紀
(株)三和技術コンサルタント	代表取締役社長	佐 藤 義 信
スズキハイテック(株)	代表取締役社長	鈴 木 喜代壽
(株)千歳建設	代表取締役社長	千 歳 栄
中央公害清掃(株)	代表取締役社長	五十嵐 昭一郎
(株)天童木工	代表取締役社長	大 山 勝太郎
東北電力(株) 山形支店	理事山形支店長	島 明 男
日東食品製造(株)	代表取締役社長	鈴 木 俊 幸
日本地下水開発(株)	代表取締役社長	桂 木 公 平
ハイマン電子(株)	代表取締役社長	竹 田 廣 次
水澤化学工業(株) 水沢工場	取締役工場長	高 橋 簡
山形ディーケーケー(株)	代表取締役社長	山 下 直
山形日本電気(株)	代表取締役社長	水戸部 知 巳
(株)ヤマザワ	代表取締役社長	山 澤 進

(17名)

山形県環境保全協会 歴代会長・副会長

年 度	会 長	副 会 長	
平成5年度～7年度	水戸部 知 巳	千 歳 栄	眞 田 昌 紀
平成8年度～11年度	千 歳 栄	八 巻 和 男	鈴 木 俊 幸
平成12年度～13年度	〃	高 橋 弘 道	〃
平成14年度～19年度	鈴 木 俊 幸	〃	小 嶋 信 一
平成20年度～23年度	小 嶋 信 一	鈴 木 信 次	鈴 木 喜代壽
平成24年度～25年度	〃	天 笠 俊 介	〃

平成25年度山形県環境保全協議会 役員等名簿

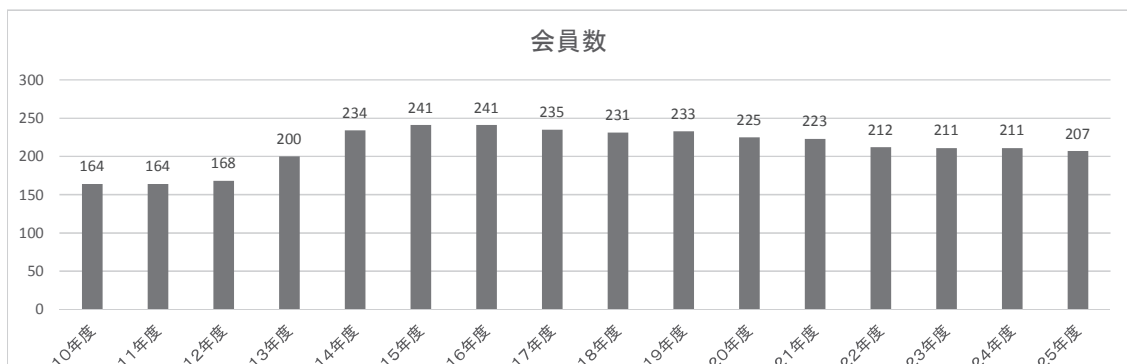
◆役員

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属	所 属 職 名	所在地	備 考
会長	小嶋 信一	オビサン(株)	代表取締役会長	山形市	
副会長	天笠 俊介	酒田共同火力発電(株)	取締役社長	酒田市	
副会長	鈴木喜代壽	スズキハイテック(株)	代表取締役社長	山形市	
理事	稲村 忍	アイジー工業(株)	製造部長	東根市	
理事	新妻 勉	(株)小森マシンリー	代表取締役	高島町	
理事	千歳 毅	(株)千歳建設	代表取締役社長	山形市	
理事	庄司 雄一	東北電力(株)山形支店	執行役員山形支店長	山形市	
理事	鈴木 俊幸	日東ベスト(株)	取締役相談役	寒河江市	
理事	桂木 宣均	日本地下水開発(株)	代表取締役	山形市	
理事	佐藤 良吉	(株)丸定	取締役相談役	米沢市	
理事	齋藤 修	水澤化学工業(株)水沢工場	工場長	鶴岡市	
理事	沖田 安生	山形東亜DKK(株)	代表取締役社長	新庄市	
理事	山澤 進	(株)ヤマザワ	代表取締役会長	山形市	
理事	森谷 俊雄	山形県	環境エネルギー部長	山形市	
理事	小林 俊英	ルネサス山形セミコンダクタ(株)	代表取締役社長	鶴岡市	
監事	鈴木 久雄	(株)三和技術コンサルタント	顧問(兼)事業本部長	村山市	
監事	五十嵐 仁	中央公害清掃(株)	専務取締役	山形市	

◆企画活動委員

役 職	氏 名	所 属	所 属 職 名	所在地	備 考
委員長	春山 優子	東北電力(株)山形支店	企画管理部門部長(企画担当)	山形市	
副委員長	金子 将人	オビサン(株)	取締役事業部長	山形市	
委員	齋藤 至	酒田共同火力発電(株)	管理部総務グループ課長	酒田市	
委員	遠藤 弘夫	(株)三和技術コンサルタント	庄内営業所所長兼 環境部門統括主幹	村山市	
委員	三條 政敏	スズキハイテック(株)	技術部環境管理課長	山形市	
委員	伊藤 利博	日東ベスト(株)	研究部部長アドバイザー	寒河江市	
委員	後藤 武	水澤化学工業(株)水沢工場	製造部長	鶴岡市	
委員	玉井 守	(株)ヤマザワ	総務部マネジャー	山形市	
委員	荒木 歩	山形県	環境エネルギー部環境企画課長	山形市	
委員	青木 保雄	ルネサス山形セミコンダクタ(株)	社長付エキスパート	鶴岡市	



20年の歩み

総会及び記念講演

平成5年度

山形県環境保全協議会設立総会（会員数110社）

日時：平成5年3月15日（月）15:00～

場所：オーヌマホテル

設立記念講演会

演題：「企業における環境倫理について」

講師：（財）山形県テクノポリス財団

理事長 鎌田 仁 氏

平成5年度通常総会

日時：平成5年6月21日（月）14:00～

場所：オーヌマホテル

総会記念講演、環境月間事業

演題：「環境基本法と企業の役割について」

講師：環境庁基本法制準備室

環境影響審査課長 小島 敏郎 氏



平成6年度

平成6年度通常総会

日時：平成5年6月13日（月）14:00～

場所：オーヌマホテル

環境月間記念講演

演題：「地球環境問題をめぐる最近の動向」

講師：環境庁地球環境部研究調査室

室長補佐 内藤 克彦 氏

平成7年度

平成7年度通常総会

日時：平成7年6月8日 14:00～

場所：オーヌマホテル

環境月間記念講演会

演題：「メルセデス・ベンツ社の環境保全対策」

講師：フリーライター 赤池 学 氏

平成8年度

平成8年度通常総会

日時：平成8年6月10日（月）13:30～

場所：オーヌマホテル

環境月間記念講演会

演題：「ISO14000 と企業経営」

講師：長銀総研コンサルティング

主任研究員 黒柳 要次 氏

演題：「地球環境と企業活動」

東北緑化環境保全（株）事業開発部

研究開発課長 早川 俊郎 氏

平成9年度

平成9年度通常総会

日時：平成9年6月23日（月）14:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「地球環境問題と本県の状況」

講師：山形大学工学部

助教授 高橋 幸司 氏



平成10年度

平成10年度通常総会

日時：平成10年6月15日（月）15:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「人と自然～共生の思想を求めて～」

講師：東北芸術工科大学

教授 赤坂 憲雄 氏



平成11年度

平成11年度通常総会

日時：平成11年6月17日（木）13:30～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「アマゾンの生活と地球環境」

講師：庄内国際交流協会

副会長 山口 考子 氏



平成12年度

平成12年度通常総会

日時：平成12年6月13日（火）13:30～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「地球温暖化と地域の環境戦略」

講師：東北芸術工科大学環境デザイン学科

助教授 三浦 秀一 氏



平成13年度

平成13年度通常総会

日時：平成13年6月13日（水）13:30～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「アサヒビール株式会社における環境戦略について」

講師：アサヒビール株式会社

環境文化推進部長 中村 恭三 氏



平成14年度

平成14年度通常総会

日時：平成14年6月13日（木）13:30～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「企業の環境経営について」

講師：東北公益文科大学

教授 高木 武夫 氏

平成15年度

平成15年度通常総会

日時：平成15年6月12日（木）14:30～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「地域における地球温暖化対策」

講師：(株) システム技術研究所

所長 樋谷 治紀 氏

企業等交流会

- ・会員企業の情報交換
- ・山形県環境保全推進賞受賞企業による事例発表
(知事賞：(株) 山形富士通、特別賞：山形市浄化センター)

平成16年度

平成16年度通常総会

日時：平成16年6月8日（火）13:30～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「21世紀の地球環境」～極地からのメッセージ～

講師：山形大学理学部

助教授 鈴木 利孝 氏

企業等交流会

- ・会員企業の情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（山形サンケン（株））



平成17年度

平成17年度通常総会

日時：平成17年6月7日（火）13:30～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念記念講演会

演題：「環境経営について」

講師：環境経済人委員会（全国）

代表 横山 直史 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（(株) 東根新電元、山形カシオ（株））



平成18年度

平成18年度通常総会

日時：平成18年6月5日（月）13:30～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演

演題：「気象から見た地球温暖化現象」

講師：気象キャスターネットワーク

井出迫 義和 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（(株) 小森マシナリー）

平成19年度

平成19年度通常総会

日時：平成19年6月5日（火）13:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演

演題：「環境問題へ挑戦する先端技術と伝統精神」

講師：東京大学

名誉教授 月尾 嘉男 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（学校法人金山学園 めばえ幼稚園）



平成20年度

平成20年度通常総会

日時：平成20年6月5日（木）13:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「将来の温暖化リスクに関して何がわかっているか？」

講師：国立環境研究所地球環境研究センター
温暖化リスク評価研究室
主任研究員 高橋 潔 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（(株) 山形ケンウッド）



平成21年度

平成21年度通常総会

日時：平成21年6月5日（金）13:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「水をはぐくむ森のはたらき～地球温暖化とその対策～」

講師：山形大学名誉教授・農学博士
(財)山形県林業公社理事長

塚原 初男 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（やまがたグリーンパワー（株））



平成22年度

平成22年度通常総会

日時：平成22年6月4日（金）13:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「生物多様性とその保全」

講師：環境省自然環境局生物多様性センター
センター長 水谷 知生 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（(株) 山本製作所）



平成23年度

平成23年度通常総会

日時：平成23年6月3日（金）11:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「事業所の節電対策の極意」

講師：（有）野田エネルギー管理事務所代表取締役

（財）電力中央研究所社会 経済研究所

客員研究員 野田 冬彦 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（日本地下水開発（株））



平成24年度

平成24年度通常総会

日時：平成24年6月5日（火）11:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「再生可能エネルギーへの期待と

『戦略』」

講師：エネルギー戦略研究所株式会社

取締役研究所長

株式会社日本政策投資銀行 参事役

山家 公雄 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（日東ベスト（株））



平成25年度

平成25年度通常総会

日時：平成25年6月5日（水）11:00～

場所：ホテルメトロポリタン山形

環境月間記念講演会

演題：「地球温暖化の現状と将来予測」

講師：国立環境研究所地球環境センター

取締役研究所長

気候変動リスク評価研究室

室長 江守 正多 氏

企業等交流会

- ・会員企業及び環境保全活動団体（NPO 等）との情報交換
- ・山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業による事例発表（山形ゼロックス（株））



表彰事業

平成 11 年 2 月、県内の企業及びその従業員の先駆的な環境保全への取組を顕彰する「環境保全推進賞」制度を創設。毎年、6 月に開催する山形県環境保全協議会通常総会において表彰。

年度	山形県知事賞（大賞）	環境保全推進賞	選考委員特別賞
平成 11 年度	・ 山形日本電気（株）（鶴岡市）	・（株）ヤマトテック（新庄市） ・ テーピー工業（株）（寒河江市） ・（有）後藤實業（天童市） ・ 沼田建設（株）（新庄市） ・ 山形県建設業協会西村山支部	
平成 12 年度	・（有）匠まさの（金山町）	・ 米沢日本電気（株）（米沢市） ・（株）クラフト（山形市） ・（株）カネト製作所（上山市） ・（株）ニューロン（村山市）	・ 山形県工業技術センター（山形市）
平成 13 年度	・（株）ヨコタ東北（新庄市）	・ 松下電器産業（株）AVC 社 AVC デバイスビジネスユニット山形工場（天童市） ・（有）ファーマーズクラブ赤とんぼ（川西町） ・ 日本フィルター（株）米沢事業所（米沢市） ・ 創造的産業育成事業委員会（米沢市） ・ 鶴岡エコフード事業共同組合（鶴岡市）	
平成 14 年度	・ 東北エプソン（株）（酒田市） ・ NEC カスタムテクニカ（株）米沢事業場（米沢市）	・（株）ニレイフーズ山形工場（天童市） ・（株）佐藤組（鶴岡市） ・ 五十嵐特殊建設（株）（村山市） ・ 山形航空電子（株）（新庄市） ・（株）山形しあわせ銀行（山形市） ・ 寒河江コンクリート（株）（寒河江市） ・（株）エルデック（酒田市）	
平成 15 年度	・（株）山形富士通（東根市）	・ 前田製管（株）（酒田市） ・ 山形住電装（株）（南陽市） ・ 山形スリーエム（株）（東根市） ・ 米沢浜理薬品工業（株）（米沢市）	・ 山形市下水道浄化センター（山形市）
平成 16 年度	・ 山形サンケン（株）（東根市）	・（株）アクアメイク（山形市） ・（有）三英クラフト（金山町） ・（株）三協製作所山形工場（長井市） ・ 精英堂印刷（株）（米沢市） ・（株）丹野（山形市）	・（株）滝の湯ホテル（天童市）（天童市） ・（株）新東京ジオシステム（天童市） ・ 東北パイオニア（株）（天童市） ・（株）山本製作所（天童市）

平成 17 年度	・(株) 東根新電元 (東根市) ・山形カシオ (株) (東根市)	・(株) 大場組 (最上町) ・NEC パーソナルプロダクツ (株) 米沢事業場 (米沢市) ・庄内環境マネジメント研究会 (庄内地域) ・(株) 山形メイコー (河北町)	・山形住電装 (株) (南陽市)
平成 18 年度	・(株) 小森マシナリー (高畠町)	・東北エプソン (株) (酒田市) ・東北ホモボード (株) (米沢市) ・米沢浜理薬品工業 (株) (米沢市)	・P & P トレーリサイクル研究 会 (新庄市)
平成 19 年度	・学校法人金山学園 めばえ幼稚 園 (金山町)	・大森工業団地連絡協議会環境部会 (東根市) ・オリエンタルモーター (株) 鶴岡 西事業所 (鶴岡市) ・天童環境 (株) (天童市) ・(株) 渡会電気土木 (鶴岡市)	・東根市外二市一町共立衛生処 理組合 (東根市)
平成 20 年度	・(株) 山形ケンウッド (鶴岡市)	・アイジー工業 (株) (東根市、 寒河江市) ・(株) 庄司製材所 (真室川町) ・東北カーボン (株) (山辺町) ・山形化成工業 (株) (河北町)	・(株) 山形メイコー (河北町)
平成 21 年度	・やまがたグリーンパワー (株) (村山市)	・日本フィルター (株) 米沢事業所 (米沢市) ・(株) 森環境技術研究所 (新庄市)	・(社) 日本自動車販売協会連合 会山形県支部 (山形市)
平成 22 年度	・(株) 山本製作所 (天童市)	・エムテックスマツムラ (株) (天童市) ・トヨタカローラ山形 (株) (山形市) ・ホテルリッチ&ガーデン酒田 (酒田市)	・鈴の宿 登府屋旅館 (米沢市) ・バイオソリッドエネルギー (株) (新庄市)
平成 23 年度	・日本地下水開発 (株) (山形市)	・斎藤マシン工業 (株) (天童市) ・(株) 滝の湯ホテル (天童市) ・(株) でん六 (山形市) ・(有) 舟形マッシュルーム (舟形町) ・(株) 山形銀行 (山形市)	・(社) 山形県トラック協会 (山形市) ・(有) トータル・システム (東根市)
平成 24 年度	・日東ベスト (株) (寒河江市)	・(株) マイスター (寒河江市) ・ルネサス山形セミコンダクタ (株) (鶴岡市) ・山形建設 (株) (山形市) ・那須建設 (株) (長井市)	・山形県遊技業協同組合 (山形市)
平成 25 年度	・山形ゼロックス (山形市)	・(株) 青葉堂印刷 (米沢市) ・(株) エスパワー (天童市) ・エナーテック (株) (山形市)	・(株) コーエー設計+福祉施設 研究室 (山形市)

平成 14 年度



平成 15 年度



平成 16 年度



平成 17 年度



平成 18 年度



平成 19 年度



平成 20 年度



平成 20 年 6 月 5 日 平成20年度環境保全推進賞 於ホテルメトロポリタン山形

平成 21 年度



平成21年6月5日 平成21年度 環境保全推進賞 於 ホテルメトロポリタン山形

平成 22 年度



平成22年6月4日 平成22年度 山形県環境保全推進賞 於 ホテルメトロポリタン山形

平成 23 年度



平成 24 年度



平成 25 年度



平成25年6月5日 平成25年度 山形県環境保全推進賞 平成25年度山形県地球温暖化防止県民運動推進大会 於 新山形駅前山形

視察研修

平成5年度

●施設研修会（参加者70人）

期日：平成5年11月16日

場所：①（株）清住産研（山形市）

②ダイシンアスコン（株）（天童市）

町)



平成6年度

●視察研修会

期日：平成6年9月28日（参加者32人）

場所：①山形県企業局村山水道事務所

②山形県自然博物館

③東北電力（株）本道寺発電所

平成10年度

●視察研修会（参加者26人）

期日：平成10年10月14日

場所：アサヒビール（株）福島工場及びアサヒビール園福島（ゼロエミッションへの取り組み）（福島県）

平成7年度

●視察研修会（参加者38人）

期日：平成7年9月7日

場所：東北電力（株）女川発電所（宮城県）

平成11年度

●第1回視察研修（参加者23人）

期日：平成11年12月8日

●第2回視察研修（参加者15人）

期日：平成12年1月18日

場所：第1回、第2回とも

日本電気（株）（鶴岡市）（環境保全推進賞知事賞受賞企業）

平成8年度

●視察研修会（参加者42人）

期日：平成8年11月15日

場所：①長井レインボープラン（長井市）

②ジークライト（株）（米沢市）



平成9年度

●視察研修会（参加者33人）

期日：平成9年10月22日

場所：①科学技術庁防災科学研究所新庄雪氷防災研究支所（新庄市）

②紫山パブリックゴルフ場建設現場（舟形

平成12年度

●県内視察研修（参加者18人）

期日：平成12年11月10日（水）

場所：米沢日本電気（株）（米沢市）（環境保全推進賞受賞企業）

●県外視察研修（参加者21人）

期日：平成12年10月5日～10日

場所：①建設省東北地方建設局福島工事事務所管轄郡山市内阿武隈川（福島県）（「水質浄化型木工沈床」の稼働状況等）
②ジークライト（株）（米沢市 総合廃棄物処理施設）



平成13年度

●県内視察研修（参加者33人）

期日：平成14年1月24日

場所：①（株）ヨコタ東北（新庄市）（山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業）
②イオン（株）ジャスコ三川店（三川町）
③慶応義塾大学先端生命科学研究所（鶴岡市）



平成14年度

●県内視察研修

期日：平成14年8月1日

場所：①山形航空電子（株）（新庄市）（山形県環境保全推進賞受賞企業）（参加者21人）
②マルカ特殊基礎工事ボンテラン事業部（新庄市）（参加者16人）

期日：平成14年8月20日

場所：①五十嵐特殊建設（株）（村山市）（山形県環境保全推進賞受賞企業）（参加者14人）
②寒河江地区クリーンセンター（寒河江市）
③寒河江コンクリート（株）（寒河江市）（山形県環境保全推進賞受賞企業）（参加者18人）

期日：平成14年8月27日

場所：①NEC カスタムテクニカ（株）米沢事業所（米沢市）（山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業）（参加者22人）
②産業創造支援施設「夢工房」（米沢市）（参加者18人）

期日：平成14年8月30日

場所：①（株）エルデック（酒田市）（山形県環境保全推進賞受賞企業）（参加者17人）
②東北エプソン（株）（酒田市）（山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業）（参加者37人）

平成15年度

●北九州エコタウン視察研修会

期日：平成15年10月20日～22日

- ①北九州エコタウンセンター視察
- ②北九州市内の企業視察
- ③「エコ・テクノ2003」の視察
（以上、福岡県）

平成16年度

●県内視察研修（参加者44人）

期日：平成16年11月5日

場所：①山形サンケン（株）（東根市）（環境保全推進賞知事賞受賞企業）

②山形県環境科学研究センター（村山市）

●県外視察（参加者22人）

期日：平成16年11月18日～19日

場所：①アサヒビール（株）茨城工場

②パナホーム（株）茨城工場

③国立環境研究所

（以上、茨城県）

④地球温暖化防止活動推進センター「ストップおندان館」（東京都）

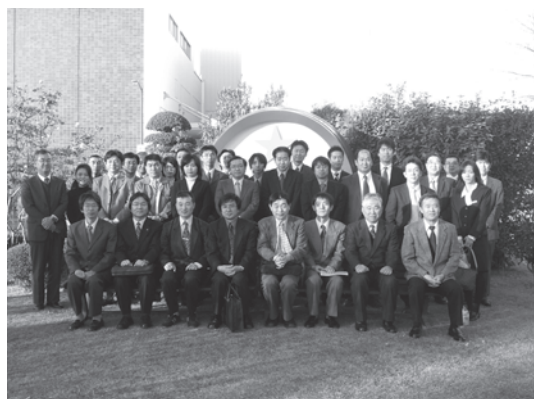
平成17年度

●県内近県視察研修（参加者36人）

期日：平成17年12月7日

場所：①山形カシオ（株）（東根市）（山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業）

②サッポロビール（株）仙台工場（宮城県）
（ESCO 事業導入による省エネルギー対策）



●県外視察研修（参加者24人）

期日：平成17年8月3日～4日

場所：①東邦ガス（株）知多緑浜工場（第2回日本環境経営大賞受賞企業）

②トヨタ自動車

③愛知万博「愛・地球博で～」

（以上、愛知県）

平成18年度

●県内近県視察研修（参加者28人）

期日：平成18年11月17日

場所：①（株）小森マシナリー（高畠町）（山形県環境保全推進賞知事賞受賞企業）

②日東紡福島工場（福島県）（排水処理、省エネルギー）

③富士通アイソテック（株）（福島県）（パソコン製造、パソコンリサイクル工場）



●県外視察研修（参加者20人）

期日：平成18年9月28日～29日

場所：①六ヶ所村原燃PRセンター（青森県）

②葛巻町（再エネの町）（岩手県）



平成19年度

●県内視察研修

期日：平成19年11月29日（参加者22名）

場所：①金山学園めばえ幼稚園（金山町）（環境保全推進賞知事賞受賞）

②オリエンタルモーター株式会社鶴岡西事業所（鶴岡市）（環境保全推進賞受賞企業）



●県外視察研修

期日：平成19年10月11日～12日（参加者15名）

場所：①スーパーエコタウン施設

- ・（株）リサイクル・ピア（建設混合廃棄物リサイクル施設）
- ・（株）アルフォ（食品廃棄物リサイクル施設）
- ・東京臨海リサイクルパワー（株）（ガス化溶融等発電施設）

②『第2回新エネルギー世界展示会』（以上、東京方面）



平成20年度

●県内視察研修

期日：平成21年1月15日（参加者41名）

場所：①（株）山形ケンウッド（鶴岡市）（環境保全推進賞知事賞受賞企業）

②東北電力（株）酒田リサイクルセンター（酒田市）

③酒田共同火力発電（株）（酒田市）



●県外視察研修

期日：平成20年11月6日～7日（参加者11名）

場所：①日本製紙（株）岩沼工場

②（株）ケーヒン 角田第一工場塩釜市
団地水産加工業協同組合

③（株）エフピコ東北工場
（以上、宮城県）



平成21年度

●県内視察研修

期日：平成22年1月21日（参加者39名）

場所：①やまがたグリーンパワー（株）（村山市）（環境保全推進賞知事賞受賞企業）

②バイオソリッドエナジー（株）（新庄



●県外視察研修

期日：平成21年9月3日～4日（参加者20

名)

場所：①(株) バイオマスしずくいし
②三菱マテリアル(株) 岩手工場
(以上、岩手県)



平成22年度

●県内視察研修

期日：平成23年1月20日(参加者14名)
場所：①(株) 山本製作所(天童市)(環境保全推進賞知事受賞企業)
②トヨタカローラ山形(株)(山形市)
(環境保全推進賞受賞企業)



●県外視察研修

期日：平成22年10月28日～29日(参加者15名)
場所：①(株) クレハ環境
②(有) いわき小名浜菜園
③いわき大王製紙(株)
(以上、福島県)



平成23年度

●県内視察研修

期日：平成24年1月24日(参加者20名)
場所：①日本地下水開発(株)(山形市)(環境保全推進賞知事受賞企業)
②(株) でん六蔵王の森工場(上山市)
(環境保全推進賞受賞企業)



平成24年度

●県内視察研修

期日：平成24年11月21日(参加者22名)
場所：①日東ベスト(株)(寒河江市)(環境保全推進賞知事受賞企業)
②(株) マイスター(寒河江市)(環境保全推進賞受賞企業)
③協同組合 山形ウッドエネルギー(寒河江市)



社会貢献事業

平成11年度

(新規)

- ・会員企業の社員（やまがた環境カウンセラー協議会会員）による「山形県環境アドバイザー制度」へのアドバイザー登録及び派遣

平成12年度

- ・会員企業の社員（やまがた環境カウンセラー協議会会員）による「山形県環境アドバイザー制度」へのアドバイザー登録及び派遣
- ・環境保全活動団体等への活動助成事業
助成先：やまがた環境カウンセラー協議会（環境フェア等の事業を実施）

平成13年度

- ・会員企業の社員（やまがた環境カウンセラー協議会会員）による「山形県環境アドバイザー制度」へのアドバイザー登録及び派遣
- ・美しい山形・最上川フォーラムへの参加
- ・アイドリング・ストップ統一行動（参加会員企業197社）（県が実施する「ストップ！アイドリング県民運動」との連携 ステッカー、ポスターの作成・配布）

平成14年度

- ・美しい山形・最上川フォーラムの新聞広告に協賛
- ・美しい山形クリーンアップキャンペーンに会員企業6社75名が参加
（参加企業に保全協議会の名入り帽子を配布）

平成15年度

- ・美しいやまがたクリーンアップキャンペーンへの会員企業の参加を呼び掛け
- ・協議会事業を一般県民、事業者等へ解放

平成16年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業の参加を呼び掛け
- ・協議会事業を一般県民、事業者等へ解放

平成17年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業に呼び掛け
- ・緑化の推進（エコキッズ・マイバック事業）を実施（小学校24校、2,913枚）
- ・アイドリングストップステッカーを追加配付（800枚）

平成18年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業へ呼び掛け
- ・植林活動（会場：鶴岡ユースホテル）
（緑の募金助成金を活用）



平成19年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業に呼び掛け
- ・植林活動（会場：鶴岡ユースホテル）
（緑の募金助成金を活用）



平成21年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業に呼びかけ
- ・森林整備活動（会場：酒田大浜保安林 参加者15名）
（緑の募金助成金を活用）



平成20年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業に呼び掛け
- ・森林整備活動（会場：酒田大浜保安林 参加者24名）
（緑の募金助成金を活用）



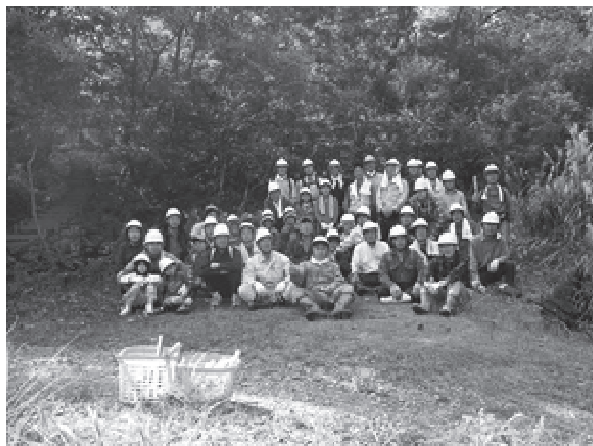
平成22年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業に呼びかけ
- ・森林整備活動（会場：酒田大浜保安林 参加者25名）
（緑の募金助成金を活用）



平成23年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業に呼びかけ
- ・森林整備活動（会場：鶴岡市金峰山 参加者44名）
（緑の募金助成金を活用）



- ・塩竈市浦戸諸島復興支援活動（参加者60名）
塩釜市内、浦戸諸島の海岸の瓦礫の撤去や民家の泥出しなどの活動を行った。



平成24年度

- ・「緑の募金」への協力を会員企業に呼びかけ
- ・森林整備活動（会場：鶴岡市金峰山 参加者46名）
（緑の募金助成金を活用）



- ・塩竈市浦戸寒風沢復興支援活動（参加者46名）
除草作業、民家の清掃、家具の移動、海岸清掃等の活動を行った。



20周年記念シンポジウム

開催日：平成25年12月19日（木）13時30分～17時00分

会 場：ホテルメトロポリタン山形「霞城」

参加人数：108名

《 プ ロ グ ラ ム 》

1 開 会

2 挨 拶



小嶋会長より開会の挨拶

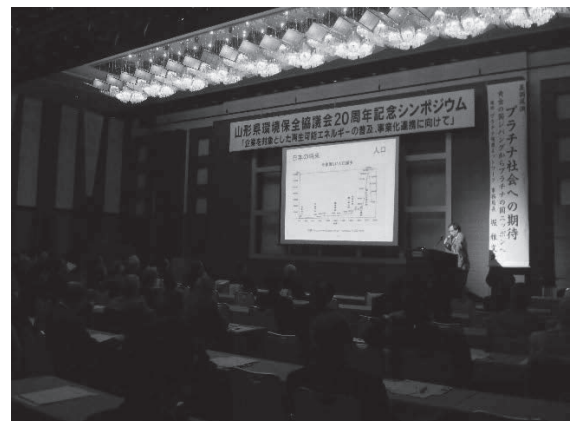


来賓挨拶 県環境エネルギー部長森谷氏

3 第1部：基調講演

「プラチナ社会への期待 黄金の国ジパングからプラチナの国ニッポンへ」

講師：プラチナ構想ネットワーク事務局長 堀 雅文 氏



4 第2部：パネルディスカッション

「企業を対象とした再生可能エネルギーの普及や事業化連携に向けて」

コーディネーター：山形大学工学部バイオ化学工学科教授 高橋 幸司 氏



パネラー

最上町役場総務課政策調整主幹兼まちづくり推進室長 高橋 明彦 氏

■最上町（第1回プラチナ大賞 プラチナ・イノベーション賞受賞）

森林資源が豊富な最上町は、林業・製材業が盛んであったが、近年は外国産木材の影響により廃業と森林の荒廃が進むと共に、化石燃料の高騰による施設運営費の増加が課題であった。平成18年度よりバイオマスボイラーを導入し、チップの生産・加工を行う為、林業・製材業の方に協力を呼びかけ協議会を立ち上げた。平成24年度には900kWのボイラーが稼働し、3台のボイラーを連携しシステム化することにより、ウェルネスプラザ（保健・医療・福祉の総合施設）にエネルギーを供給し、地産地消のエネルギーと循環型社会を目指している。また、林業で若者の雇用と林産業の新たなビジネス展開やバイオマスエネルギーの視察を中心に農業と観光との連携が生まれている。



株式会社エスパワー 代表取締役 渡辺 栄造 氏

■株式会社エスパワー（平成 25 年度環境保全推進賞受賞企業）

平成 23 年に自社で開発した積雪地域に特化した高耐久性太陽電池パネル、「サンチェリーソーラー」の販売及び設置業務を開始した。また、塩害地域に設置可能な塩害対策モジュールの開発や、屋根の雪降ろし軽減と冬期の発電促進が可能な融雪パネル等の開発を行っている。太陽光発電関連事業を通じて、二酸化炭素排出量や光熱費の削減等による地球環境の保全と地域社会への貢献を目指している。



東北おひさま発電株式会社 代表取締役 後藤 博信 氏

■東北おひさま発電株式会社

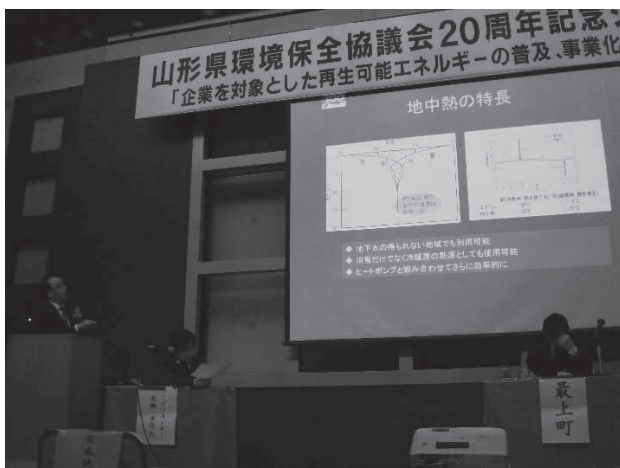
太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーによる新たな電源開発を進め、地球環境の保全と地域における安定した電力供給に資するため、那須建設株式会社（平成 24 年度環境保全推進賞受賞企業）の全額出資により平成 25 年 3 月に設立された。山形県長井市にメガソーラー「長井おひさま発電所」を建設し 8 月営業運転を開始した。



日本地下水開発株式会社 常務取締役 桂木 聖彦 氏

■日本地下水開発株式会社（平成23年度環境保全推進賞知事賞受賞企業）

創業以来、地下水を主とする地中熱利用技術の開発に取組み、オープンシステム（揚水した地下水から熱を取り出す方法）の地下水還元方式無散水消雪方式や帯水層蓄熱による地下水利用ヒートポンプ冷暖房システムを実用化した。省エネでCO2排出量削減に有効であり、空調排熱を大気に放出しないで地中に放熱することから、ヒートアイランドの抑制に貢献している。



パネラーからは「東日本大震災以降、再生可能エネルギーの議論は電気に偏っているが、現実的にエネルギー消費量の半分を占めているのは熱。熱利用の議論を深めるべきだ」「地域の特色を生かしたエネルギーを組み合わせる視点が不可欠。エネルギーの地産地消を進めたい」といった意見が出された。最後に高橋コーディネーターより「山形らしい取組を作っていく必要がある。環境保全協議会の会員企業はそれぞれ特色ある企業が加入している。これから環境保全協議会で作成するデータベースなどを活用しながら会員企業同士や行政などが連携し、日本一の環境県を作り出せるのではないかな。今回のシンポジウムがその契機になればよい」とまとめられた。



2013年（平成25年）12月20日（金曜日）

再生可能エネ 多彩な視点

県環境保全協議会 20周年、山形でシンポ



再生可能エネルギー普及に向けた企業の取り組みについて理解を深めた記念シンポジウム。山形市・ホテルメトロポリタン山形

本大震災以降、再生可能エネルギーの議論は電気に偏っているが、現実的にエネルギー消費量の半分を占めるのは熱。熱利用の議論を深めるべきだ。地域の特色を生かしたエネルギーを組み合わせる視点が不可欠。エネルギーの地産地消を進めたい」といった意見が出された。

県環境保全協議会（小嶋信一会長）の発足20周年を記念したシンポジウムが19日、山形市のホテルメトロポリタン山形で開かれた。県内で再生可能エネルギーの導入に取り組む企業などがパネル討論で先進事例を報告し、事業化に向けた連携の方策を話し合った。パネル討論は高橋幸司山

形大工学部教授をコーディネーターに、最上町総務課の高橋明彦政策調整主幹、エスパワー（天童市）の渡辺栄造代表取締役、東北おひさま発電（長井市）の後藤博信社長、日本地下水開発（山形市）の桂木聖彦常務がパネリストを務め、それぞれの取り組みを紹介した。パネリストからは「東日

発 行 日：平成26年3月31日

編集発行：山形県環境保全協議会事務局（NPO法人環境ネットやまがた）

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37

TEL 023-679-3340 FAX 023-679-3389

E-mail hozenkyo@eny.jp

ホームページ <http://www.eny.jp/hozenkyo/>